

## 平成 30 年度消防防災航空隊長会議を開催

平成 30 年 6 月 7 日(木)～平成 30 年 6 月 8 日(金)の二日間に亘り、東京都(全国町村会館)において平成 30 年度消防防災航空隊長会議を開催いたしました。

### 【1 日目 6 月 7 日(木)】

- 13:35 ～ 挨拶 総務省消防庁広域応援室長 本間 和義 様  
14:00 ～ 講演Ⅰ「消防防災ヘリコプターの安全性向上・充実強化に関する検討会」  
検討結果について  
総務省消防庁航空専門官 井本登巳彦 様  
15:00 ～ 事例発表Ⅰ「安全運航取組状況」  
長野県消防防災航空隊安全運航管理幹 成山 誠 様  
17:00 ～ 意見交換会  
挨拶 全国航空消防防災協議会副会長代理  
(東京消防庁警防部参事兼警防課長) 竹泉 聡 様

### 【2 日目 6 月 8 日(金)】

- 9:30 ～ 講演Ⅱ「実践的 CRM/TEM と安全管理」  
日本ヒューマンファクター研究所 塚原 利夫 様  
11:10 ～ 事例発表Ⅱ「ヘリコプター動態管理システムの有効活用  
に関する調査研究専門委員会」  
富山県消防防災航空隊 隊長 広瀬 優 様  
11:50 ～ 質疑応答 意見交換等  
12:00 閉会

#### 《隊長会議に参加して》【アンケート結果より抜粋】

- ・講演や事例発表とても参考となった。持ち帰り情報共有する。
- ・消防庁の講演内容については納得でき、今後とも支援をお願いしたい。
- ・総務省消防庁の広域応援の流れ。とても分かりやすかった。
- ・パイロットや整備士の養成は、各自治体のみでの解決は困難。国の支援をお願いしたい。
- ・ダブルパイロットのみならず、整備体制の構築も必要。
- ・成山管理幹の安全運航に関する熱意や考え方、とても強い気迫が感じられた。  
全国の航空隊も長野をスタートとして安全文化を築きたい。安全運航の見直し参考とする部分がたくさんあった。
- ・安全運航の一環として、長野県の組織の再構築大変興味深かった。
- ・CRM に関する塚原講師のお話はまた聞きたい。県庁にもお招きして県の体制から変えることができればと思う。
- ・安全管理について CRM が重要であると再認識した。クルー全員が CRM を理解し、より一層安全運航に努めたい。
- ・塚原講師の講演とても参考になった。もっと時間を増やしてより深い講義をしていただきたい。
- ・塚原講師の講演、数日間の日程で実施していただきたい。
- ・動態管理の報告、今回は DVD もあり、とても解りやすくて良かった。また、1 年間の検討の中で、通信間隔を 30 秒以内で運用できるようになったことは安全管理体制の構築に寄与できたことと思う。
- ・ヒヤリハットの事例の共有化なるべく早く。
- ・隊長会議の研修もっと増やせないか。
- ・今年から講演資料がホームページにアップされており、事前に目を通すことができた。

※ CRM の講演については、大多数の方から「お褒めの言葉」と「再講演の要望」をいただきました。

・・・など、多くの意見を頂きました。